

Sunshine 第2回 Lessons

Lesson 2-1: 主語になる代名詞の使い分け

代名詞とは、名詞の代わりに使われる単語です。be 動詞の文の作り方について学ぶ前に、まずは主語になる代名詞について学んでいこうと思います。

【英語でよく登場する代名詞】

私 / 私たち / あなた / あなたたち / 彼 / 彼女 / 彼ら / 彼女ら / これ / それ / あれ / これら / それら / あれら

<例> ハナコさん → 彼女 生徒たち → 彼ら・彼女ら 私と弟 → 私たち
私の机 → これ・それ・あれ 3本のペン → これら・それら・あれら

【主語となる英語の代名詞】

今回学ぶ、主語となる英語の代名詞は以下の11個。

I / you / we / they / he / she / it / this / that

私 → I あなた・あなたたち → you 私たち → we 彼 → he 彼女 → she
彼ら・彼女ら・それら → they *それ → it (ペットは he/she が主に使われる)
これ → this (「この(形)」にもなる) *それ・あれ → that (「その・あの(形)」にもなる)

*it / that は、両方とも「それ」と訳されることがあり、同じような意味で使われることも多い。

Lesson 2-2: be 動詞の肯定文① (I / you / we / they)

英語には「be 動詞の文」「一般動詞の文」など様々な種類の文の形があるのですが、今回は文の主語(文章で基本的に「○○は」「○○が」にあたる部分)が I, you, we, they の時の be 動詞の肯定文について学んでいきます。

【be 動詞の主な特徴】

- (1) 「存在」を表す。
- (2) = (イコール) の役割を果たすともいわれている。
- (3) 一般動詞(「食べる」「歩く」など日本語で言う動詞)がない文で使われる。
- (4) ここで覚える be 動詞は2種類(am/are)。「主語」によって使い分けされる。

【be 動詞の肯定文：基本の形】

主語 + be 動詞 + ○○.

(意味: 「主語は○○です」「主語は○○でした」)

<○○の部分には「形容詞」「名詞」「形容詞+名詞」などが入る>



1. **in** = ～ (グループ・部屋・市町村・国などの中) に
 <ある程度大きなエリアやケースに入っているイメージ>

<例> We are **in** Japan. (私たちは日本**に**います)
 I am **in** Class 2B. (私はクラス 2B **に**います)

2. **from** = ～から / ～出身 <どこかから出発するイメージ>



<例> I am **from** Japan. (私は日本**出身**です)

Lesson 2-4: be 動詞の否定文① (I / you / we / they)

be 動詞の否定文の作り方は、be 動詞の肯定文が作ることができれば非常に簡単。なぜなら、be 動詞の肯定文を作り、be 動詞の後に not を足してあげれば完成だからです。

【be 動詞の否定文：基本的な形】

主語 + **be 動詞** + **not** + ○○.

「主語は○○ではありません」

(are not は、aren't と短縮させることができる)

<例> I **am not** a teacher. (私は先生では**ありません**) <I **amn't** a teacher. = ×>
 We **are not (aren't)** students. (私たちは、生徒では**ありません**)

【be 動詞の否定文の作り方】

ステップ 1 : be 動詞の「**肯定文**」を作る。

ステップ 2 : be 動詞の後に **not** を足す。(be 動詞と not を短縮させることも可)

<例 1 : 私は先生ではありません>

ステップ 1 : be 動詞の肯定文を作る。

→ 私は先生です。

_____ I am a teacher.

ステップ 2 : be 動詞の後に not を足す。

_____ I **am not** a teacher. (I'm not a teacher. も可)

<例 2 : 私たちは生徒ではありません>

ステップ 1 : be 動詞の肯定文を作る。

→ 私たちは生徒です。

_____ We are students. _____

ステップ 2. be 動詞の後に not を足す。(be 動詞と not を短縮させることも可)

_____ We are **not** students. _____ (We **aren't** students. / We're **not** students も可)

Lesson 2-5: be 動詞の疑問文① (I / you / we / they)

ここでは、be 動詞の疑問文について学んでいきます。be 動詞の疑問文は、be 動詞の肯定文をしっかり作ることができれば非常に簡単。なぜなら、肯定文の be 動詞を文頭に持ってくれば完成となるからです。

【be 動詞の疑問文：基本的な形】

be 動詞 + 主語 + ~ ?

「主語は～ですか」

<例> **Are** you a student? (あなたは生徒ですか)

Are they English teachers? (彼らは英語の先生ですか)

【be 動詞の疑問文の作り方】

ステップ 1: be 動詞の「**肯定文**」を作る。

ステップ 2: be 動詞を**文頭**に持ってきて、最後を**?**にする。

<例 1: あなたは生徒ですか>

ステップ 1: be 動詞の肯定文を作る。

→ あなたは生徒です。

_____ You are a student. _____

ステップ 2: be 動詞を文頭に持ってきて、最後を?にする。

_____ **Are** you a student? _____

<例 2: 彼らは英語の先生ですか>

ステップ 1: be 動詞の肯定文を作る。

→ 彼らは英語の先生です。

They are English teachers.

ステップ 2: be 動詞を文頭に持ってきて、最後を?にする。

Are they English teachers?

【be 動詞の疑問文：答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。（注意：ここでいう代名詞は、I / you / we / they）

Yes, 代名詞 be 動詞 .

代名詞と be 動詞を短縮させることも可能。

<例> No, I'm not. No, you're not. など

No, 代名詞 be 動詞 not .

are で答える時は、be 動詞と not を短縮させた形を使うのが一般的。

<例> No, you aren't. など (amn't = × (存在しない))

<例 1> Are you a student?

はい → Yes, *I am.

いいえ → No, *I am not. / No, I'm not.

* Are you ~? (あなたは~?) という疑問文では、答える時に I (私は) を使うので注意。この質問をされている状況を想像するのが大事。

<例 2> Are they English teachers?

はい → Yes, they are.

いいえ → No, they aren't. / No, they're not. / No, they are not.

Lesson 2-6: Wh 疑問詞① (Where)

ここでは「どこで?」という意味の Where について学んでいきます。これは、Wh で始まることから、Wh 疑問詞と呼ばれたりします。Where の大きな特徴は、

文頭で使われる

ということ。そして、Where の後は、すでに学んだ「be 動詞の疑問文」の形になります。

【Where を使った疑問文：基本の形】

Where + be 動詞 + 主語 (+ ~) ?

(~は、どこですか?)

<例> **Where** are they? — They are in 2-C.

(彼らはどこですか。 — 彼らは2Cにいます)

Where are you from? — I am from Kanagawa.

(あなたの出身はどこですか。 — 私は神奈川県出身です)

【Where を使った疑問文の作り方】

ステップ 1: 「どこ」の部分に**同じ種類の「適当な単語」**を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「適当な単語」を **where** に戻す。

ステップ 3: Where を**文の先頭**に持ってくる。

<例 1: あなたはどこ出身ですか。 >

ステップ 1: 「どこ」の部分に**同じ種類の「適当な単語」**を入れて疑問文を作る。

「どこに」の部分「神奈川県」に変える

→ 「あなたは**神奈川県**出身ですか？」

Are you from **Kanagawa**?

ステップ 2: 入れた「適当な単語」を **where** に戻す。

Kanagawa → **where** に戻す。

Are you from **where**?

ステップ 3: **Where** を文の先頭に持ってくる。

Where are you from?

【ポイント！】

Where are you from? とはいうが、Where are you in? とは基本的に言わない

「あなたは、どこにいるのですか？」という場合、Where are you in? とは言わず、Where are you? だけとなります。これは、in をつけなくても『あなたのいる場所をたずねる言い方』のため、in をつける必要がないからです。しかし、「あなたはどこ出身ですか？」という場合、Where are you? では、通じません。そのため、Where are you **from**? と from がついています。